



### 飼い主と犬の幸せのため、安心安全のために奔走するドッグトレーナー

金子 稔さん (犬塚・30歳)

問題行動が見受けられる犬たちに、人と暮らす上でのルールやマナーを教え、さらには警察犬の育成を通して捜査に協力しているのが、ドッグトレーナーの金子稔さんです。

金子さんは、幼いころから飼っていた犬とじゃれ合うことが大好きな少年でした。ドッグトレーナーという職業を知ったのは小学生のとき。盲導犬をテーマにしたテレビドラマを見て「犬の訓練士になりたい」と思ったそうです。

高校卒業後、夢を実現させるため動物専門学校に進学。犬の習性や本能、犬との信頼関係の築き方、犬の美容や看護などを学び、担当する犬と共にさまざまな実習を経験することで、しつけ方法や飼い主への指導方法などドッグトレーナーとして必要な知識やスキルを磨いていきました。専門学校卒業後、「さらなるレベルアップを」と県外の警察犬訓練所へ。約5年間住み込みで働き、朝から晩まで各家庭での出張訓

練や警察犬の訓練に没頭したそうです。「犬も人間と同じように性格がさまざまなので、悩むことが多かったんです。それでも試行錯誤を繰り返しながら訓練したことで、ようやく犬に寄り添った指導ができるようになりました。あのときの経験が、現在とても生かされています」と語ります。

金子さんは24歳のときに独立し、市内にドッグスクールKANAKOを開業しました。モットーは「飼い主さんと犬がより良い関係性を築けるような訓練」。これまでに約300組の家族に携わり、飼い主と一緒にその犬に合った最良の指導方法を考えながら実践してきました。

また、警察犬の育成にも力を注いでいる金子さん。自身の愛犬「ポルト」は、埼玉県警察嘱託警察犬として平成23年から捜査に協力し、4年連続で年間最多出勤を記録しています。平成26年には、日本警察犬協会が主催する全国大会「日本訓練チャンピオン決定競技会」の警戒部門で入賞。平成27年にはもう一匹の相棒「吠」も同じ大会で入賞させるなど、訓練士としての手腕を十分に発揮しています。

「家庭犬のマナー向上、犯人逮捕に貢献できる警察犬の育成、世界的な競技会への出場。今この3つのことを目標に精進しています」。10年のキャリアを積んだ今もなお、さらなるステップアップに意欲を見せる金子さんは、これからもドッグトレーナーとして多忙な日々が続きます。



## はじめまして



### 平成27年3月生まれのお子さんを募集します

○1月4日(月)～29日(金)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318)  
※応募要領は市ホームページをご覧ください。  
○応募者多数の場合は、2月3日(水)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



★★★平成27年1月生まれのおともだち★★★



若林 凌玖ちゃん(佐間)  
平成27年1月17日生まれ  
父・正浩さん 母・麻希さん  
「我が家の福の神!」



村田 結侍ちゃん(谷郷)  
平成27年1月22日生まれ  
父・憲俊さん 母・恵さん  
「笑顔で元気に育ってね」



新井のぞみちゃん(播磨)  
平成27年1月30日生まれ  
父・由郁さん 母・ちひろさん  
「パパとママのたからもの♡」



山口 侑里ちゃん(門井町)  
平成27年1月14日生まれ  
父・敬之さん 母・千恵さん  
「いつも優しく笑顔でね!」



宮崎 琉生ちゃん(富士見町)  
平成27年1月18日生まれ  
父・雅也さん 母・智恵子さん  
「姉弟仲良く元気に育ってね」



松本 優斗ちゃん(野)  
平成27年1月24日生まれ  
父・大介さん 母・梨沙さん  
「4姉弟経営で親父越え☆」

## ぎょうだの会社を クローズアップ!!

## 吉田モールディング

プロ愛用のこだわりグリップを提供



### 会社プロフィール

代表 吉田 成司  
【事業内容】プラスチック樹脂製造業  
【住所】長野5887

今月は、代表を務める吉田成司さんの競輪選手時代の経験を生かし、握り心地や耐久性など、これまでにない競技用自転車のグリップを製造している吉田モールディングをご紹介します。  
同社はプラスチック成型の下請け会社として平成8年に開業しました。「射出成型」という技法を用いて、体育の授業で使用されるカラーコーンや車のシフトレバー、ペットボトルのふたなどさまざまなプラスチック製品を手掛けてきました。  
転機が訪れたのは14年前。エラストマーというゴムの感触に似た特殊なプラスチック樹脂を取り扱ったときのことでした。「この素材を競技用自転車のグリップに応用できるんじゃないか」と思ったんです。元競輪選手としての血が騒ぎましたね」と吉田さんは語ります。

同社は、元選手としてのこだわりをふんだんに詰め込んだ「チャンプグリップ」を開発。この製品は当時使用されていたゴム製のものに比べ、約3倍の耐久性を実現しました。また、厚さもワンサイズしかなかったものが、1ミリメートルから4ミリメートルまで5種類となり、選手の手の大きさやさまざまな握り方に順応できるようにになりました。自分に合ったグリップを選べるとあって、選手がこぞってチャンプグリップを採用するように。その後、メッセンジャーという競技用に近い自転車が流行し、この自転車を取り扱う店舗にも販路を拡大していったそうです。  
最近では機能性だけでなく、30色もある豊富なカラーも注目を浴びている同社の製品。特に海外の自転車愛好家を中心に、自転車を自分好みにカスタマイズしたい人に人気があるそうです。吉田さんは「今後はストライダーといった子ども用自転車の部品や、グリップ以外のプラスチック部品を作っていきたいです」と意気込みを語ってくれました。自転車愛好家の心強いパートナーとして、同社はチャンプグリップに次ぐ新たなヒット商品の開発に力を注いでいます。

## 私の作品

◎皆さんの作品を募集しています。  
◎俳句は毎月5日までに、はがき・封書で  
広報広聴課へご応募ください。

- |                  |            |                |            |
|------------------|------------|----------------|------------|
| 俳句               | 荒木 藤田 明枝   | 年の瀬の年賀遠慮の便り増え  | 持田 小倉 繁三   |
| 日向ぼこ猫と分け合う小座布団   | 持田 丸山 麟一   | 初春や赤子の笑顔つき合ふ   | 荒木 小林 康男   |
| 落葉踏む郷愁と云う過去に逢う   | 富士見町 鈴木スイ子 | 梵鐘のほのかなる青冬夕焼   | 荒木 手島 一海   |
| 惜しまれつ田んぼアートの稲を刈る | 本丸 諸貫 節子   | 蘇える思い出辿りばたん鍋   | 門井町 茂田 鳥山  |
| 七五三父似母似の笑顔かな     | 荒木 森田 静    | 秋晴や百寿のおばの恵比寿顔  | 須加 原 ちか子   |
| 一病もこころの支え冬に入る    | 荒木 藤田 栄之   | 素朴なる暮らし大事に大根引く | 荒木 高澤よね子   |
| 句の道の果ては未知数冬北斗    | 城南 橋本千枝子   | 朝日影そつと初霜消し行かん  | 榎田町 春田 枕流  |
| 国宝の山門くぐり七五三      | 佐間 須永 節子   | 枯落葉風と一緒に水路越ゆ   | 向町 小沼 重蔵   |
| 小春日や深呼吸して医の門へ    | 持田 斉藤 協二   | 柿熟れて鳥達の声賑やかに   | 持田 伊藤 洋子   |
| 年の瀬の急く事もなし老夫婦    | 須加 蓮 陽子    | 初孫の誕生の報小春かな    | 榎上 吉澤とし子   |
| 穏やかに孫の挙式や紅葉晴     |            |                | (三沢 一水 監修) |

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。  
特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当(内線318)までお寄せください。